

終了時評価表

1. 案件の概要	
事業名（対象国名）： ヘリテージツーリズムによる辺境農漁村の生計多様化プロジェクト（ベトナム）	
事業実施団体名：学校法人 昭和女子大学	分野：観光一般
事業実施期間：2016年1月～2019年1月	事業費総額：51,009,510円
対象地域： <ul style="list-style-type: none"> ・ゲアン省ナムダン郡キムリエンコミュニティ、ナムチュンコミュニティ、バンジエンコミュニティ（成果1） ・ゲアン省コンクオン郡ヌア村と近隣村（成果2） ・クアンナム省チャム島（成果3） ※本事業はベトナム国内の3地域を対象としており、成果1、2、3がそれぞれ1地域に対応している。	ターゲットグループ： <ul style="list-style-type: none"> ・ゲアン省ナムダン郡キムリエンコミュニティ、ナムチュンコミュニティ、バンジエンコミュニティを中心に約30名（行政組織、女性連盟等）（成果1） ・ゲアン省コンクオン郡ヌア村を中心に約30名（行政組織、民謡グループ、女性連盟、ホームステイグループ等）（成果2） ・クアンナム省チャム島約30名（行政組織、漁業従事者、女性連盟、ローカルガイドグループ等）（成果3）
所管国内機関：東京センター	カウンターパート機関： <ul style="list-style-type: none"> ・ゲアン省（文化スポーツ）観光局 ・クアンナム省 ホイアン文化遺産保存管理事務所
1-1 協力の背景と概要 ベトナムの農村地域では、伝統的な文化や地場産業が豊富に残るものの未開発の地域が多く存在し、都市部に比べ生活水準が低いなどの課題がある。本事業では、辺境地域の農漁村を対象とし、地域に潜在する文化資源、自然資源、人的資源を活用し、ツーリズムによる人との交流を促すことで、地域の収入手段の多様化を目指した。	
1-2 協力内容 (1) 上位目標 農村・少数民族集落・漁村におけるヘリテージツーリズムを通じた観光プログラムの実施により、	

住民の収入が向上する

(2) プロジェクト目標

農村・少数民族集落・漁村における住民によるヘリテージツーリズムの実施能力が向上し、生計手段が多様化する

(3) アウトプット

1. ゲアン省ラム河田園風景と農村集落の資源を活かした観光プログラムが形成される
2. ゲアン省ヌア村の少数民族の暮らしと地場産業を活かした観光プログラムが形成される
3. チャム島の漁村集落の保存と特産品を活かした観光プログラムが形成される

(4) 活動

- 1-1. 行政代表及び住民グループを組織化し、観光管理組織を形成する
- 1-2. ラム河周辺農村の観光資源調査を実施する
- 1-3. ラム河周辺の観光拠点を作る
- 1-4. ラム河対岸のナムチュンコミュニティとカインソンコミュニティの伝統民家集落の保存計画作成を支援する
- 1-5. レストランのプロモートと土産物開発を支援する
- 1-6. 日本の農村観光を視察する本邦研修を行う
- 1-7. 観光訪問先の整備・観光案内ルート形成、ガイド研修を行う
- 1-8. 観光パンフレット・観光地図・フェスティバル開催などによる観光推進を行う
- 1-9. 旅行会社と協力し、ラム河周辺の観光ツアーを形成する
- 1-10. ベトナムの他地域の農村観光を視察する研修を行う

- 2-1. 行政代表及び住民グループを組織化し、観光管理組織を形成する
- 2-2. ヌア村において、観光資源調査を実施する
- 2-3. ヌア村の滞在の拠点となるホームステイ施設を整備する
- 2-4. タイ族の伝統料理を活用した食事サービス等に関する研修を行う
- 2-5. 農産品を使った体験プログラムと土産物を開発する
- 2-6. 日本の農村観光を視察する本邦研修を行う
- 2-7. ヌア村の観光ルート形成、ガイド研修を行う
- 2-8. ヌア村などを掲載したゲアン省の観光マップ、村の案内版を作成する
- 2-9. 旅行会社と協力し、ヌア村の観光ツアーを形成する
- 2-10. ベトナムの他地域の農村観光を視察する研修を行う

- 3-1. 行政代表及び住民グループを組織化し、観光管理組織を形成する
- 3-2. チャム島の観光資源調査を実施する
- 3-3. 伝統的バイラン集落の構造や伝統民家の保存活用計画作成を支援する
- 3-4. バイフォン漁村と海岸の観光戦略作成を支援する
- 3-5. レストランプロモート・民宿のレベルアップ指導・土産物開発を行う
- 3-6. 日本の農村観光を視察する本邦研修を行う

- 3-7. 海水浴場・観光訪問先・観光案内ルートを形成し、ガイド研修を行う
- 3-8. 観光パンフレット・観光案内図・フェスティバル開催などによる観光推進を行う
- 3-9. 旅行会社と協力し、チャム島の観光ツアーを形成する
- 3-10. ベトナムの他地域の農村観光を視察する研修を行う

2. 評価結果

妥当性 (Are these the right things to do?) 評価：高い

※DAC 評価 5 項目の妥当性に相当。

ベトナム共産党政治局は、2020 年までに観光業を主要産業に育て、観光収入を GDP 比 10% とすることを目標にしている (決議 8 号)。また、本事業で取り組んだ「農村保存」は、2000 年 9 月のドウモイ書記長の「伝統的農村集落を生きのまま後世に伝えたい」という演説に端を発している。他方、著しい経済発展が続くベトナムにおいて、農村部の所得水準は依然低いため、わが国の援助方針においてもベトナム開発課題 2-2 (小目標) では、「社会生活面の向上と貧困削減、格差是正」が設定されている。

以上より、集落を保存したまま観光推進を図り、農村地域の生計向上を目指した本事業は、ベトナムの政府方針及びわが国の援助方針に合致していた。

また、本事業では、事業前に住民・行政側に観光の取り組みまたは意欲が存在した地域の中から、3 地域を選びそれぞれのニーズに基づいた事業を実施した。ベトナム国において観光分野の草の根技術協力事業の実施経験を有する本団体が、諸条件が異なる 3 地域で団体の強みを生かしたプロジェクトを実施することで、ベトナム農村観光開発にかかるより多角的な経験・知見を獲得し、他事業に転用可能な教訓を得ることも期待された。

3 地域それぞれの特色と計画の詳細は次の通り。どの地域も、プロジェクトは現地事情やニーズに合っており、ターゲットグループ・カウンターパートの選定は適切で、計画やアプローチも問題解決を実現しうるものであった。

<成果 1：ゲアン省ナムダン郡>

ナムダン郡には、人気観光スポットであるホーチミン生家があり、他にも多くの歴史的建物が存在し観光のポテンシャルが高い。一方で、ホーチミン生家以外の観光資源については、事業開始以前は未開発であった。そこで、ホーチミンの生家を訪れる多くの観光客に地域の文化や農業資源をアピールし、収益を得るという計画で活動を進めた。具体的には、伝統民謡ヴィザムの観光プログラム化や伝統的建築物の保存支援、既存の農産品の品質向上を行った。

<成果 2：ゲアン省コンクオン郡>

事業地のヌア村自体は観光地でなかったものの、国立公園の近隣に位置することから、2011 年からユネスコ等により住民向けに観光関連研修が実施されており、事業前の調査段階で食事等のサービス提供がスタートしていた。ゲアン省・コンクオン郡・イエンケコミュニティと、ヌア村の上位行政にも観光振興への強いモチベーションがあった。またベトナムで通常プロジェクトから支払われる参加費 (日当) を要求しないなど住民自身に観光業への強い意欲もあった。地域住民と行政のイニシアティブを支える形で、既存の資源を有効に活用し、発展させるための活動を計画し、実施した。

<成果 3：ホイアン市タンヒエップ村 (チャム島) >

世界遺産があるホイアン市の一部として、対象 3 地域の中で、国外からの観光客が多く最も観光地

化が進んだ地域であるが、大半の観光客が日帰りツアーで、ビーチと船着き場周辺のみ滞在で帰ってしまうため、大半の収益は島外の旅行会社が得るのみで、島民が観光業から受ける恩恵が少ないことが課題であった。他方、チャム島はユネスコの生物圏保存地域であるため希少生物保護の観点から過度の観光客流入は好ましくなく、環境保全に配慮した活動を計画する必要もあった。以上の背景を踏まえ、海洋保存委員会や村の人民委員会、島民との話し合いに基づき、観光客をビーチと船着き場から漁村内部に流す方針とし、島に存在する資源の魅力を体験してもらう観光プログラムの開発を行った。

実績とプロセス (Are we doing what we said we would do?) 評価：やや高い

概ね効率的に予定通り実施すべき業務が実施できたと評価できる。

3地域にそれぞれの実績とプロセスの評価は次の通り。

<成果 1. ゲアン省ラム河田園風景と農村集落の資源を活かした観光プログラムが形成される>

指標 1-1 観光プログラムの開発数（各成果（アウトプット）毎に3つ以上）	達成
---------------------------------------	----

<ゲアン省ナムダン郡で開発した観光プログラム>

- ・ 伝統農村訪問・食サービスプログラム：カインソン村、ナムチュン村
文化財指定を目標とした集落保存の活動と食の研修を並行実施。集落保存の活動では地域の住宅を所有する全ての住民の合意が必要であったため取り付けが難航したが完プロジェクト期間中に文化財指定の申請ができる準備が整った。
- ・ 伝統民謡“ヴィザム”体験プログラム：バンジエン村
地元のイベント、結婚式などで公演し、収入を得られるようになっている。また、地域のドウックナム集会所を会場とし要望に応じ観光客向けの公演ができる状態となっている。
- ・ 土産物開発及び生産所の訪問・体験プログラム：
①春雨（乾麺）②伝統みそペースト③ピーナッツ製品（オイル、バター）④くず粉（&ターメリック粉）

全ての製品について、地元のスーパーマーケットや土産物店での販路が確保されており、売り上げも順調。周辺で最大の観光拠点であるホーチミン氏生家（キムリエン村）前に設置した観光情報センターでも販売。土産物開発用の機材は、JICA 開発調査型技術協力のスキームで調達。商品開発は、VIRI (Vietnam Rural Industries Research and Development Institute、ベトナム地方産業研究開発研究所。以下、VIRI) の協力で実施。製造工程の見学・体験もできるようになった。

プロジェクトで支援した観光資源を、既存の観光資源（ホーチミン元国家主席生家、マイハックデ王の遺跡、ファンボイチャウ記念館等）と組み合わせツアー実施可能な状態となっており、旅行会社を招いた体験ツアーも実施した。

伝統農村訪問プログラムは事業内で完了していないが、複数の土産物生産グループの品質向上、組織力強化、販路拡大を達成しており、指標を十分に満たす成果を上げているものと評価する。

指標 1-2 観光管理組織（行政スタッフと住民グループの参加）の会合の回数（月 1 回以上）	: 未達成
<p>ナムダン郡の広範囲に拠点が点在していることから、観光管理組織が作りやすく、想定した形の観光管理組織は育成できなかった。ただし、各観光資源グループ（伝統民謡ヴィザム、味噌ペースト、くず粉組、ピーナッツ製品）はリーダー、副リーダーを中心に会計その他の組織構造を丁寧に育成し、すべてのグループが事業期間内に協同組合を設立した。またそれぞれのグループごとに行政（ナムダン郡文化情報局）との連携も緊密で行政を核としたまとまりがあり、平均して行政-グループ間には月 1 回以上のコミュニケーションが存在する。</p>	
指標 1 - 3 観光プログラムの形成と実施に参加している住民（アウトプット 1 : 30 名以上）	: 達成
<p>バンジエンコミュニティの伝統民謡ヴィザムグループ（25 名）、くず粉商品組合（8 名）、味噌ペースト組合（8 名）、春雨（乾麺）組合（24 名）、ピーナッツ製品組合（1 世帯※2 名とカウント）に参加した住民を合計すると 67 名で、指標は達成した。</p>	
<p>事業途中で、現地調整員が帰国することになり、代わりにベトナムの研究機関 VIRI からベトナム人専門家（専門：観光・住民参加（グループ形成）・土産物開発等）を 2 名配置した。結果的に、この 2 名の専門家による現地事情を踏まえた組織運営指導・商品開発・販売方法が適切であったため、多くの農産加工品の品質を向上させ、販路を拡大することに成功した。</p> <p>また現地行政から強い要望があった「ラム河ボートクルーズ」構想は、改めて調査をしたところ安全面での課題が大きく実現できなかったが、代わりに伝統民謡ヴィザムのパフォーマンス会場を整備した（メインの建物はゲアン省及びベトナム政府の予算で整備することとなり、プロジェクトではトイレ整備等一部のみを支援）。終了時評価のヒアリングでは、ヴィザムに関わることによって追加収入が得られることだけでなく、伝統文化の良さの再確認や自己肯定感の向上に繋がっていることも確認された。複数の側面で住民の生活向上に繋がる適切な代替策であったと評価できる。</p>	
<p><成果 2. ゲアン省ヌア村の少数民族の暮らしと地場産業を活かした観光プログラムが形成される></p>	
指標 2-1 観光プログラムの開発数（各成果（アウトプット）毎に 3 つ以上）	: 達成
<p><現在稼働中の観光プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高床式ホームステイ体験プログラム：ヌア村 高床式住居に宿泊し、オーナー家族と触れ合うプログラム ・食サービス：ヌア村 地域の女性グループと一緒に料理し、タイ族の料理を提供 （ホームステイとの連携した提供が多い） ・タイ族の踊り体験プログラム：ヌア村 	

- ・牛車や農業体験プログラム：ヌア村
- ・オレンジ観光農園プログラム：ファー村（ヌア村の隣村）
- ・土産物開発・販売プログラム：
 - ① オレンジ酒（ワイン、リキュール）、②オレンジジュース、③オレンジピール、④エッセンシャルオイル、⑤オレンジ石鹸、⑥オレンジジャム

本プロジェクト実施前から存在した観光サービス（ホームステイ等）の質を向上させたほか、新たな観光プログラムとして、オレンジ収穫体験や牛車体験、多数のオレンジ加工品を開発し、指標は達成した。

指標 2-2 観光管理組織（行政スタッフと住民グループの参加）の会合の回数（月 1 回以上）	: 達成
--	------

観光管理組織が存在し、現在は住民だけで運営されている。観光管理組織では、コミュニティ観光グループ（メンバーは 5 名）が中心となり、旅行会社 5 社との提携により観光客を受け入れている。行政には報告・相談のみを行っているが、住民組織の能力が高いためあまり行政の介入は必要がないというのが実情である。他方、行政の関心も高く他の村がヌア村に学ぶことを促進する動きがあるほか、必要に応じ支援を行っている。

指標 2-3 観光プログラムの形成と実施に参加している住民（アウトプット 2 : 30 名以上）	: 達成
--	------

30 名以上が参加しており目標値は、達成できている。（以下内訳）

- コミュニティ観光グループ 5 名
- ホームステイグループ 3 世帯
- 食グループ 8 世帯
- 踊りグループ 15 名
- オレンジ関連 8 世帯
- 牛車 1 世帯

ヌア村は、プロジェクト前半で現地調整員張り付いて活動したため、対象 3 地域の中で最も予定通りの活動がなされた地域と言える。

想定外に生じた課題を乗り越えた事例として、オレンジグループで共有するはずの機械を特定の家庭に置くと、それ以外の家がうらやむという事態が起こったが、その際、カウンターパートのゲアン省下にあるコンクオン郡に相談・交渉し、オレンジ製品のショールームを建設し、機械もそこに置くことで解決した。

また、基盤整備について、当初ヌア村のトイレ整備は一か所のみであったが、観光受入れ状況を改善するために、3 箇所を整備することに変更した。3 箇所の整備にあたり、プロジェクトの予算のみでなく、ホームステイグループの各世帯の費用負担にて実現した。

以上の通り、可能な限り現地負担・住民負担を模索し、予算は効率的に活用した。

<成果 3. チャム島の漁村集落の保存と特産品を活かした観光プログラムが形成される>

指標 3-1 観光プログラムの開発数（各成果（アウトプット）毎に3つ以上）

: ほぼ達成

<開発した観光プログラム>

- ・ 愛の泉トレッキングプログラム
山と泉の散策に加えて、森のお茶と島のお菓子を食し、山側の魅力を楽しめるプログラム
- ・ 伝統漁村の生業体験プログラム
名物の花を使ったハンモック作りや伝統菓子作りを体験できるプログラム
- ・ 土産物（パッケージされたフォレスト茶）開発
チャム島近辺で伝統的に飲用されている山の葉を使ったお茶を小分けパッケージにして販売
上記新規開発プログラムは、まだ恒常的に収益が得られる状態にはなっていないものの、土台を整えることができた。

指標 3-2 観光管理組織（行政スタッフと住民グループの参加）の会合の回数（月1回以上）

: ほぼ達成

事業開始後、チャム島には行政主導の観光管理委員会があり、住民と調整を計りながらチャム島全体の観光を適切にマネジメントしていることが分かったため、新規に観光管理組織を育成する必要はなかった。行政と住民は定期会合を持っていないが、観光管理委員会の行政官も島民で島の事情に通じており、また観光管理委員会・住民間で相互の情報共有が適宜行われ、観光関係者間でコミュニケーションが取れている。本事業でも行政・住民の協働に留意して各活動を進め、関係強化・維持のサポートを図った。

指標 3-3 観光プログラムの形成と実施に参加している住民（アウトプット3:30名以上）

: 達成

- ・ 愛の泉トレッキング・伝統漁村の生業体験プログラム: 6名（ガイド等）
 - ・ 土産物開発（パッケージされたフォレスト茶）: 約30名
- プロジェクトで開発した新プログラムに関与している住民数は目標値を超えている。

上述の通り、チャム島では新規に観光管理組織を立ち上げることの意義が薄いことが分かり、その分新規観光プログラムの開発と食などの観光サービスの質の向上に注力することとした。適切な方向転換であるが、より丁寧な事前調査により予見できた可能性がある。

事業費について、JICAからの予算は適切に活用した。加えて、可能な限り現地行政・住民側に支出を促し、オーナーシップを高めた。伝統的な民家 Nguyen Vinh 邸の移転工事及び展示室工事にかかるホイアン市側の多額の負担は、手続きに時間を要しプロジェクトの進捗を遅らせる要因ともなったが、持続性の観点で好ましい結果をもたらした。

効果 (Are we making any difference?) 評価：高い

総じて、本事業は事業対象地域に良い変化をもたらしたと評価できる。

3地域にそれぞれの評価は次の通り。

<プロジェクト目標：農村・少数民族集落・漁村における住民によるヘリテージツーリズムの実施能力が向上し、生計手段が多様化する>

<p>指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> 各対象農村が提供する観光プログラム及び土産品について、1)品質、2)実施管理体制から、実施能力を評価し、3)種類、4)来訪者数（販売数）から、生計手段の多様化を評価する。 参考指標として、観光プログラム及び土産品の収益を記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲアン省ナムダン郡：達成 ゲアン省コンクオン郡：達成 ホイアン市タンヒエップ村（チャム島）：概ね達成
---	--

<ゲアン省ナムダン郡>

<p>1) 品質</p>	<p>民謡ヴィザムについては、地域のイベントや結婚式等でのパフォーマンスが可能となった。土産品については、すべて食品安全認証を取得済み。スーパーマーケットや土産物店にも商品を陳列して貰えるレベルとなり品質は大幅に向上した。</p>
<p>2) 実施管理体制</p>	<p>ナムダン郡文化情報局を核として、広範囲に点在する観光資源が管理されている。事業で組織力強化・品質向上を支援した各住民グループも行政と適切な連携が取れている。</p>
<p>3) 種類</p>	<p>民謡パフォーマンス、土産物の種類等、本プロジェクトにより、観光資源の種類は増加している。土産物の製造工程の見学・体験を交えた観光コースの土台も作った。またカインソン村の伝統集落を文化財として登録し、観光資源化するための準備を整えた。</p>
<p>4) 来訪者数（販売数）</p>	<p>終了時モニタリングのヒアリングにおいても、春雨（乾麺）、味噌ペースト、ピーナッツ、くず粉とすべての土産物品関係者から販売数増・売上増が確認できている。民謡ヴィザムについては、現時点では収入への貢献は小さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民謡ヴィザム <ul style="list-style-type: none"> 月2-3団体にパフォーマンスを披露 土産物

	<p>春雨（乾麺）： 206,274kg (2018)</p> <p>味噌ペースト： 11,119L (2017) 17,147L (2018)</p> <p>ピーナツ： 19,853L (2017) 24,406L (2018)</p> <p>くず粉： 6,051kg (2018)</p> <p>一方、来訪者数への影響はまだ確認できない。</p>
<p>参考) 観光プログラム及び土産品の収益</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民謡ヴィザム 68,700,000VND (2017.7-2018.7 実績合計) ・ 土産物 <ul style="list-style-type: none"> 春雨：86,852,000VND (2018) 味噌ペースト： 134,280,000VND (2017)、 414,957,400VND (2018) ピーナツ： 60,328,300VND (2017)、 211,851,900VND (2018) くず粉： 289,842,900VND (2018)
<p>観光サービスの質が向上し、各土産物生産グループの協同組合も実現したことから、本事業を通じ、地域の観光実施管理能力は全体的に向上したと判断できる。また、観光資源の増加や土産物販売数の増加から、生計手段の多様化も実現できていると言え、ゲアン省ナムダン郡においてプロジェクト目標は達成したと評価できる。</p>	
<p><成果2：ゲアン省コンクオン郡（ヌア村（ファー村（オレンジ関連））></p>	
<p>1) 品質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームステイ・食サービス等で、おもてなし品質の向上が見られる ・ ヌア村の観光プログラムは、本事業終了時点でSNS上の口コミ等で良い評価を得ている。 ・ オレンジを使用した土産物は全商品、食品安全認証を取得し、スーパーやホテルの土産物コーナーで販売できるようになっている。
<p>2) 実施管理体制</p>	<p>住民5名からなる観光管理組織が、ホームステイグループ、踊りグループ、食事グループを調整管</p>

	理し、行政にも報告・相談を行いながら地域全体の観光をマネジメントできるようになっている。
3) 種類	<p>既存の観光資源（ホームステイ、踊り、食）の品質を向上させ収入源として確立させた。また、牛車体験等の新しい観光プログラムを開発した他、ヌア村の隣村ファー村との連携でオレンジ収穫体験プログラムや、廃棄オレンジを使ったオレンジ製品（ワイン、リキュール、エッセンシャルオイル、石鹸、オレンジピール）を開発し、観光資源の種類は増加している。</p> <p>なお、ヌア村周辺の観光資源を旅行会社や観光客にアピールするための観光マップとブックを作成済み。</p>
4) 来訪者数（販売数）	<p>一部比較に適した数値が取れていない品目もあるが、ほとんどの種類で増加傾向にあると言える。</p> <p>* オレンジ関連の生産量は、2017年は年間、2018年は1月～8月までの数値</p> <p>①ホームステイ滞在者数：117名(2016)、240名(2017)、560名(2018)</p> <p>②食事提供：783食(2016)、890食(2017)、1185食(2018)</p> <p>③踊りプログラム実施数：11グループ(2016)、42グループ(2017)、32グループ(2018)</p> <p>④オレンジワイン生産量：550本(2017)、400本(2018)、</p> <p>⑤ オレンジリキュール生産量：650本(2017)、600本(2018)</p> <p>⑥ エッセンシャルオイル生産量：5L(2017)、9L(2018)</p> <p>⑦ オレンジ石鹸生産量：150個(2017)、300個(2018)</p> <p>⑧ オレンジピール生産量：50kg(2017)、33kg(2018)</p>
参考) 観光プログラム及び土産品の収益	<p>・ヌア村では23名が観光プログラムに参加し、120,000VND～233,700,000VNDの収入を得ている。(2017)</p> <p>(参考) 単価ホームステイ 100,000VND/泊、食</p>

	<p>事 50,000VND-250,000VND/食・踊り 800,000-1,000,000VND/回</p> <p>・ オレンジ関連商品合計：1,316,750,000VND (2017)、567,960,000VND (2018)</p> <p>* オレンジ関連の収益は、2017 年は年間、2018 年は 1 月～8 月までの数値</p>
--	--

観光サービスの品質は向上し、実施管理体制も強化された。ヌア村を訪れる観光客は増加傾向にあり、各観光プログラムの実施回数や土産品の販売数量も伸びている。よって、ゲアン省コンクオン郡ヌア村（及びファー村（オレンジ関連））でプロジェクト目標は達成したと評価できる。

ヌア村全体の 150 世帯のうち、観光に従事しているのは 30 世帯ほどだが、観光に従事していない住民にも、地域を訪れた観光客が地域の野菜や果物・畜産品等を購入することで現金収入を得るケースが出ている。また、観光に従事していない住民からも観光で村が楽しくなったとの声もある。

その他の予期しなかった良い効果として、地域住民から、ベトナム各地からヌア村を訪れる観光客の知識レベルが高く、観光客との対話を通じ様々な情報・学びを得らえていることが嬉しいとの声があった。また、コンクオン郡内で、ヌア村に学び自主的にコミュニティ観光を開始した村（ケザン村）も生まれ、プロジェクト終了時点でヌア村と同等レベルの観光サービスができるまでに成長した。

一方、地域に観光客が多くなったことで、ゴミ問題が生じている。この問題に対処するため、行政主導で観光客が守るべきルール作りがなされ、合わせて村内に 15 の焼却炉が設置された。今後各世帯にも焼却炉を設置する方針である。観光から生じた問題に対し、現地主導で解決策が取られていることから、地域の観光実施力が高まっていることが分かる。

<成果 3：ホイアン市タンヒエップ村（チャム島）>

1) 品質	<p>チャム島内での観光案内・土産品（森のお茶）に品質の向上が見られる</p>
2) 実施管理体制	<p>行政主導の「観光管理委員会」が 2009 年から活動しており、チャム島観光全体のハブとして機能している。</p> <p><観光プログラム></p> <p>観光管理委員会と住民 4 世帯（農家 2 世帯、漁師 2 世帯）が中心となり実施</p> <p><森のお茶></p> <p>住民約 30 名からなる農業組合が中心</p>
3) 種類	<p>観光プログラム 2 つ（愛の泉トレッキングプログラム、伝統漁村の生業体験プログラム）、土産品一つ（パッケージ入り森のお茶）が本事業で開発された。</p> <p>なお、チャム島内の観光資源を旅行会社や観光客にアピールするための観光マップとブックを作</p>

	成済み。
4) 来訪者数（販売数）	<p><観光プログラム参加者> 2017年約10-20名、2018年約150名（プロジェクト関係者も含む）</p> <p><森のお茶販売> パッケージ販売は試験的な状態（島内の土産物店や路上等での販売）</p>
参考) 観光プログラム及び土産品の収益	基盤ができた段階であり、全体として現時点では売上・収益は少ない。

観光プログラムや土産物にかかる品質の向上は認められ、プロジェクトを通じて観光の実施体制強化にも一定程度貢献できた。ただし、プログラム終了時点においては、観光プログラムや土産物販売の基盤ができた段階で、世帯の収入向上に貢献できているケースは少なく、よって生計手段の多様化としては道半ばである。

他方、指標に表れない部分であるが、本事業の関与・協力により島内の伝統的民家の保存が決まり、ホイアン市の負担（約500万円程度）により主要な観光資源とすべく眺めの良い場所へ移設した。また、ホイアン市予算（約50万円程度）とJICA草の根予算を合わせ船着き場の展示室を改修（島の歴史の展示スペースを開設）した。これらホイアン市と協働しての観光資源整備は、現地関係者（行政・住民両方）に非常に喜ばれている。

さらに、本事業を通じて島の住民たちが歴史やありのままの生活が観光資源となり得ることを理解し、自尊心を高めたことは、予期せぬ良い効果の一つと言える。また、変化の促進要因としては、プロジェクト・マネージャーの友田博道氏が現地で長年培ってきた人脈の影響が大きい。友田氏の実績や人柄がホイアン市関係者の信頼を得ていることから、ホイアン市行政と密な協力関係のうちにプロジェクトを進めることができた。

阻害要因・課題として、事業スケジュールリングがあげられる。チャム島の観光オフシーズンを考慮したスケジュールリングができていれば更に効果が上がっていたことと思われる。

持続性(How sustainable are the changes?) 評価：高い

3地域それぞれの評価詳細、全体評価の詳細は次の通り。

【各活動地域ごとの持続性】

<ゲアン省ナムダン郡>

本事業で品質向上を達成した土産物の販売収益は順調に伸びており、各住民グループは協同組合化も達成し事業終了時点でも住民主体で円滑に活動できていることから、持続性が期待できる。

更に、ホーチミン氏の生家という人気観光地を有するナムダン郡では、ゲアン省行政及びナムダン郡行政共に観光への意欲が高い。観光ルートの開発、ボートツアーなど本事業では土台しか築けなかったものや断念した活動があるが、ゲアン省が作成した本事業の報告書には、事業終了後にガイド養成、再調査、プレスツアー等を独自に実施し、更なる観光振興を図る計画であることが記されている。また本事業の成果維持のため住民グループ向けの研修実施（毎年）、機材・施設管理等についての指導・

モニタリングの継続等も計画されている。事業中も多くの現地側の予算措置が取られていたことから、今後も予算措置は確実と考えられ、事業の持続発展性は非常に高い。

<ゲアン省コンクオン郡>

首都ハノイでは、観光地としてのコンクオン郡の知名度はほとんどないが、コンクオン郡によるとこれまでのプロモーションの成果で観光客は増加傾向にあり、2018年度前半のコンクオン郡への観光客は30,000人、うちヌア村への滞在客が8,000人となっている。

ヌア村の住民は自分たちで観光プログラムをマネジメントできる段階になっており、経済的にも観光収益を元手に観光プログラムを実施できる状態であることから、コンクオン郡ではこれまで行ってきた支援を徐々に減らしてきた。今後しばらくの事業成果の持続発展性は高い。

ただし、旅行会社へのヒアリングによると、ベトナムの国内の観光は時々のトレンドがあるとのことで、同じモデルで観光に取り組む他の村の住民が増える場合には、差別化も求められる。現在の住民主導の観光の良さを保ちながら、必要に応じてコンクオン郡や民間企業などにも協力を求め、継続的に内容を進化させていくことが必要である。

<ホイアン市タンヒエップ村（チャム島）>

人気観光地であるホイアン市及びその近くに位置するリゾートであるチャム島には、ベトナム国内のみならず海外からもたくさんの観光客が訪れる。そのため、本事業で支援した観光拠点や、土台を築いた観光プログラム・土産品が、事業後に活用される素地は、他の2地域以上に十分にある。

一方、ベトナム観光人気の高まりとともに、本事業の成果に頼らずとも観光客は増加する傾向にあるため、行政・住民とも本事業の成果へのこだわりは強くないことがヒアリングから感じられた。そのため、今後事業の成果の一部が埋もれてしまう可能性も考えられる。

ただし、ホイアン市人民委員会・チャム島人民委員会の実務レベルでは、本事業効果を持続発展させるための具体策（観光コースの景色改善、土産品プロモーションの強化等）が検討されている。本事業の方向性は、環境保護の観点や文化保存の観点からチャム島のニーズによくマッチしていたと考えられることから、事業効果の持続発展性は一定程度ある。

【事業全体としての持続性】

事業を実施した3地域に共通し、計画当初から持続発展性を念頭に置き進めたことで、一定以上の持続性が確保される結果となった。実施団体は、地元のニーズに沿った活動を重視しており、CPのみでなく地域の人民委員会や女性連合、青年団、農民会など住民組織の巻き込みも十分行われている。実施期間終了後も成果の持続性確保及び活動の広がりを担保する事業を実施することができた。

PMU (Project Management Unit) の設置など行政との基本的な連携を形成すること以外に、留意したポイントは次の通り。

・収入のある住民主体のグループを形成すること

観光サービス、土産物開発のすべてにおいて住民グループを形成し（地域にすでに存在したグループも活用）、マーケットに繋げる支援を行った。マーケットでの販売に至るプロセスも住民が試行錯誤しながら体験し、事業後も販売収益から予算を得て、継続して活動できる体制の土台を作った。

・ 民間との連携

市場性のある商品を開発・販売するため、消費者の嗜好やマーケットの変化に敏感な民間との連携は重要であり、本事業では、旅行会社や販売を行う店舗との協力関係の構築をサポートした。

3. 市民参加の観点からの実績

- ・ 実施団体は大学であるため、大学の授業やオープンキャンパス等で草の根技術協力の経験を共有し、また大学のゼミ活動で実際にプロジェクトの現場を訪問するなどの取り組みを行い、大学生の若手人材への国際理解促進に努めた。現地を訪れた学生の発言が、住民の活動のヒントになった事例もあり、現地住民にも学生にも良い機会となった。
- ・ JICA 横浜センター、JICA 山梨デスク、山梨県立大学（本プロジェクトに教員が従事）にて 2018 年 5 月に実施した「国際協力をあなたのキャリアに！」にて、草の根技術協力の経験等を共有し、若手人材への国際協力分野へのキャリア形成に寄与した。
- ・ プロジェクトサイトにて、日本人向けのモニターツアーを実施した。2018 年 8 月には、チャム島に三重県松阪市、島根県大田市等の関係者に訪問してもらい、草の根技術協力の取り組みを紹介した。2018 年 9 月には、ヌア村に山梨県甲府市のロータリークラブを招待し、草の根技術協力の取り組みを共有した。
- ・ 2016 年 9 月と 2018 年 5 月に実施した日本への研修において、自治体関係者や市民と交流した。2016 年 9 月は、ホイアン市のチャム島関係者を日本に招聘し、島根県大田市の市役所関係者、銀の道商工会、町並み保存に取り組む市民、三重県松阪市の市役所関係者や織物組合等と交流した。2018 年 5 月は、ゲアン省関係者を日本に招聘し、文化庁、横浜市緑の協会、山梨県笛吹市芦川町のまちづくり実行委員、そのほか市民と交流した。2つの日本での研修は、それぞれ地域の新聞やテレビで報道された。
- ・ プロジェクトの様子は、プロジェクト・マネージャーが所属する昭和女子大学国際文化研究所のホームページに掲載、一般市民への理解促進に努めた。
- ・ 実施団体は、JICA ベトナム事務所主催の「NGO-JICA 研修会」を活用することにより、他の草の根実施団体との情報交換や研修会で培ったネットワークを通じて、同分野における問題の共有と対処、ビジネスマッチング、実施団体間の協力を進めることにより、事業の発展に役立てた。
- ・ ゲアン省主催の投資・貿易促進セミナーにおいて、CP 機関協力のもと、事業成果を一般市民だけでなく、中央政府要人にもアピールすることができた。

4. グッドプラクティス、教訓、提言等

<案件実施の意義を伝えられるエピソード>

本案件に携わったゲアン省ヌア村の住民達は、案件を通じて生活や豊かさが大きく変化した。事業以前、住民達は、農業を基本とし、質素な暮らしをおくっていた。同時に代々継承される少数民族タイ族の文化や伝統が残っていた。案件を通じてその生活に価値変容が起こり、暮らしとタイ族の文化が融合した観光プログラムが人々を魅了するようになった。JICA と協力して行ったプレスツアーの効果も多大にあり、無名であったヌア村が全国的に知れ渡った。これに注目した旅行業界も観光客の送客を開始し、マーケットとつながっていった。

ヌア村の食事グループが提供する料理は、タイ族の伝統に日本人専門家が協力した盛り付け、サービスが工夫され、外国人にも人気となった。食事に感銘を受けた外国人は、村人にチップを置いていく者も出てきた。これにより、村人たちは、自分たちの文化が評価されていることを知り、それまで以上に自分たちの文化に誇りを持つようになった。以降、観光客が訪れると、村人たちが集まり、タイ族に伝わる伝統的なドラムを流しながら、人を笑顔で迎えるようになった。別れる際も、車が見えなくなるまで手を振ってくれる。人が村に訪れるようになったことで、村人たちは明るくなり、また村人の間でも観光により様々なつながりが生まれ、地域のきずなが強くなった。

プロジェクトの終了間際に村人たちに行った調査にて、暮らしの幸福度を聞いた。観光に携わった住民のすべてが、10点満点で、もともと4~9であった幸福度が、プロジェクト終了時点では10点満点と回答された。理由として、収入があがり生活用品が自由に買えるようになった、観光の仕事に誇りに思えて家族や近隣からも尊敬される、村人同士のつながりが強くなり日常的な生活も楽しくなった、等の意見があった。

<グッドプラクティス、教訓>

農漁村地域での観光振興の進め方について、以下の事項に有用性がみられた。

① 観光グループ、生産グループの形成

- ・ベトナムの農村には、固有の共同体がある。農民会、女性連盟、老人会、青年団、祖国戦線などである。グループのメリットはこれらの人的つながりがいかせることである。助け合いや共同精神等である。観光客を受け入れるためには、日本もそのような議論が進んでいるが、地域ぐるみ、地域一体という考え方が必要である。理由は1つの観光スポットやサービスだけでは集客できないからである。ベトナムの農村では、複数の世帯が協力しあうことで地域の魅力が発信でき、受入体制も向上する。土産品の製造についても、複数の住民がグループを形成することにより、生産量や生産性の向上が見込まれ、個人よりもグループに優位性がある。

② 旅行会社との連携

- ・地域住民の観光への参加やビジネスの起業を促すには、収益性を目に見える形で約束することが必要となる。これは、実施団体や行政機関のみで達成できるものではなく、実際に観光客を集客する旅行業界との連携が不可欠となる。ベトナムの現在の旅行市場の状況は、個人旅行者が増加傾向にある

が、辺境地の観光促進には初期段階では旅行会社が関わることでマーケットへの認知度の拡大へ可能性が広がる。本案件では、プロジェクトの開始当初から旅行会社をパートナーとして扱い、観光資源の評価、食事研修等のお披露目会等への参加、FAM ツアー等によるツアー自体の評価や旅行会社からの改善提案等を受けてきた。このことで、観光プログラムができる前からマーケットのニーズを反映させることができ、実際の観光客の訪問につながっている。

③ ベトナム専門人材の活用

・本案件では、1年次から2年次にかけての現地調整員の交代に伴い、ゲアン省にベトナム人専門家を2名配置した。専門家は、観光、住民参加とグループ形成、土産品開発等に専門性をもつ。専門性ある人材が直接住民や住民グループと活動することができ、またマーケット開拓を行うことができる。また本案件で協働したベトナム人専門家は、地場産業開発に専門性をもつ VIRI (Vietnam Rural Industries Research and Development Institute) から派遣してもらった人材である。VIRI は、国際援助機関のプロジェクトを受託するなどの経験ももち、プロジェクト終了後には自主財源にて地域をサポートし続けている。本案件についても、特に土産品の開発について、品質管理、品質改善、マーケット開拓等の分野で継続的にかかわっていただく予定である。このようにベトナム人専門人材を活用することで、日本人以上に成果が見込める分野もある。活動の内容に応じて、適切な人材を配置することが有効である。

なお、JICA ベトナム事務所は本事業の取り組みを住民参加型（コミュニティベース）観光開発分野、特に現地リソースである専門人材の活用などの好事例として、他の類似事業に必要なに応じて情報共有していく予定である。

<提言>

本事業では、観光用の付加価値がついた農産加工品が市場に出回ると共に、農産品そのものの価格も上昇する等の効果も表れた。農村の自然資源・伝統文化を観光の切り口で再定義することを通じ、農村の経済活性化に貢献できる方法をモデル的に実証できた意義は大きい。外部要因の影響を受けやすい観光産業であるが、農村の生計「多様化」の一助として十分に価値があることが示された。

人口の約7割が農村に住むベトナムで、本事業の経験を参考にすることでより豊かな暮らしを営む農民が増えることを願う。

現地行政機関及び地域住民が主体的に開発できた地域産品やツアーについては、事業終了後も実施団体によるフォローを可能な限りお願いしたい。

以上